

平成28年度 伊那市学校人権同和教育実践計画概要

学校名 伊那市立手良小学校

テーマ 自己肯定感を持ち、共に尊重し合あって生きる心をじょうせいするためにはどうしたらよいか。

学年ごとの取り組み予定	学年	人権課題 (※1)	扱う資料等	取組内容 (箇条書で簡潔に)		
	1	⑭人権一般	・あけぼの ・私たちの道 ・心のノート 等	・あいさつをかわしたり「ふわふわことば」を使えたりする。 ・年長児との交流を通して、年下の子どもへの接し方を考える。		
	2	②子ども ⑭人権一般	・あけぼの ・私たちの道 ・心のノート 等	・友だちの良いところ探しをする。 ・友だちにかける言葉について考える。		
	3	②子ども ⑭人権一般	・あけぼの ・私たちの道 ・心のノート 等	・ひとりひとりのよいところさがし ・様々な個性を認め合い、支え合う。		
	4	④障害者 ⑭人権一般	・あけぼの ・私たちの道 ・心のノート 等	・点字やアイマスク体験で、目や耳の不自由さを体験し、関わり方等を学ぶ。 ・相互理解		
	5	②子ども ⑭人権一般	・あけぼの ・私たちの道 ・心のノート 等	・より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。 ・思いやりの心を持ち、相手の立場に立って行動する。		
6	⑤同和教育 ⑭人権一般	・あけぼの ・私たちの道 ・心のノート 等	・被差別部落の人々の生き方と解決に向けての取り組みを学習。 ・自分自身の生き方について考えたり自己を見つめ直したりする。			
人権同和教育推進上の悩み						
				①講師決定理由・人権課題 ②工夫改善点 ③取組内容・新たな取組等		
児童	研修講演会	テーマ/タイトル	未定			①11月の参観日の折に四者共催の講演会を行う予定。一般にも開放して、地域の方々にも参加して頂く。
		講師名・所属等	未定			
	アンケート等	QUアンケート	実施学年	4~6年	実施回数	年2回
		その他	未定			
	児童会の取組		③朝のあいさつ運動、なかよし集会、年間を通した縦割り班活動(仙丈グループ)、縦割り清掃			
保護者	研修講演会	テーマ/タイトル	正しいインターネットの使い方			①インターネットによる人権侵害防止のための学習会を行う。親が知らないところで、子ども達の間で起こりうる様々な問題を学習する。
		講師名・所属等	未定			
	家庭への発信・連携		③学級便り、学校便り、学級懇談会等で取り上げていく。			
職員	研修講演会	テーマ/タイトル	・児童理解を深め、特に支援が必要な児童に寄り添った視点での取り組みを学ぶ。 ・被差別部落の当事者に学ぶ機会を取る。			①授業のユニバーサルデザイン化の視点から、全ての子どもが学びやすい環境づくりの実践と研修を積み重ねる。 ・同和教育を当事者から学び、教職員の人権感覚を高めたい。
		講師名・所属等	後藤一男氏(部落解放同盟棚沢支部長)			
		校内組織の取組		③児童理解を深め授業等で支援が必要な児童に寄り添った取り組みについて意見交換や実践報告をしていく。授業のユニバーサルデザイン化について実践を積み重ねる。		
○地域組織、他学校、福祉施設との交流・連携 ○地域への発信等		②③新山小学校、手良保育園との交流 ・学校便りを手良地区全戸に回覧し、学校の教育活動や子どもの様子などを理解して頂けるようにしていく。 ・四者共催の講演会を設け、地域にも一般公開する。				

【※1】人権課題について(下記から選んで記入してください。記入例「④障害者」)

①人権一般(生命尊重、自尊感情、コミュニケーション能力等) ②女性(DV・セハラ含む)男女平等 ③子ども(いじめ、こどもの権利等) ④高齢者 ⑤障害者 ⑥同和教育 ⑦アイヌの人々 ⑧外国人 ⑨インターネット、携帯電話等による人権侵害 ⑩HIV感染者、ハンセン病患者 ⑪刑を終えて出所した人 ⑫犯罪被害者 ⑬北朝鮮当局による拉致被害者問題 ⑭性的指向に関わる問題 ⑮満州開拓団・中国帰国者 ⑯東日本大震災

